

交付図書の訂正について

平成24年6月14日付けで入札公告を行った「東北自動車道 綱木川橋床版補強工事」に係る交付図書の内容の一部に誤りがありましたので、別添のとおり訂正します。

平成24年 7月12日

(契約責任者) 東日本高速道路株式会社 東北支社
支社長 鈴木 辰夫

平成24年度

東北自動車道
綱木川橋床版補強工事

図書交付資料正誤表

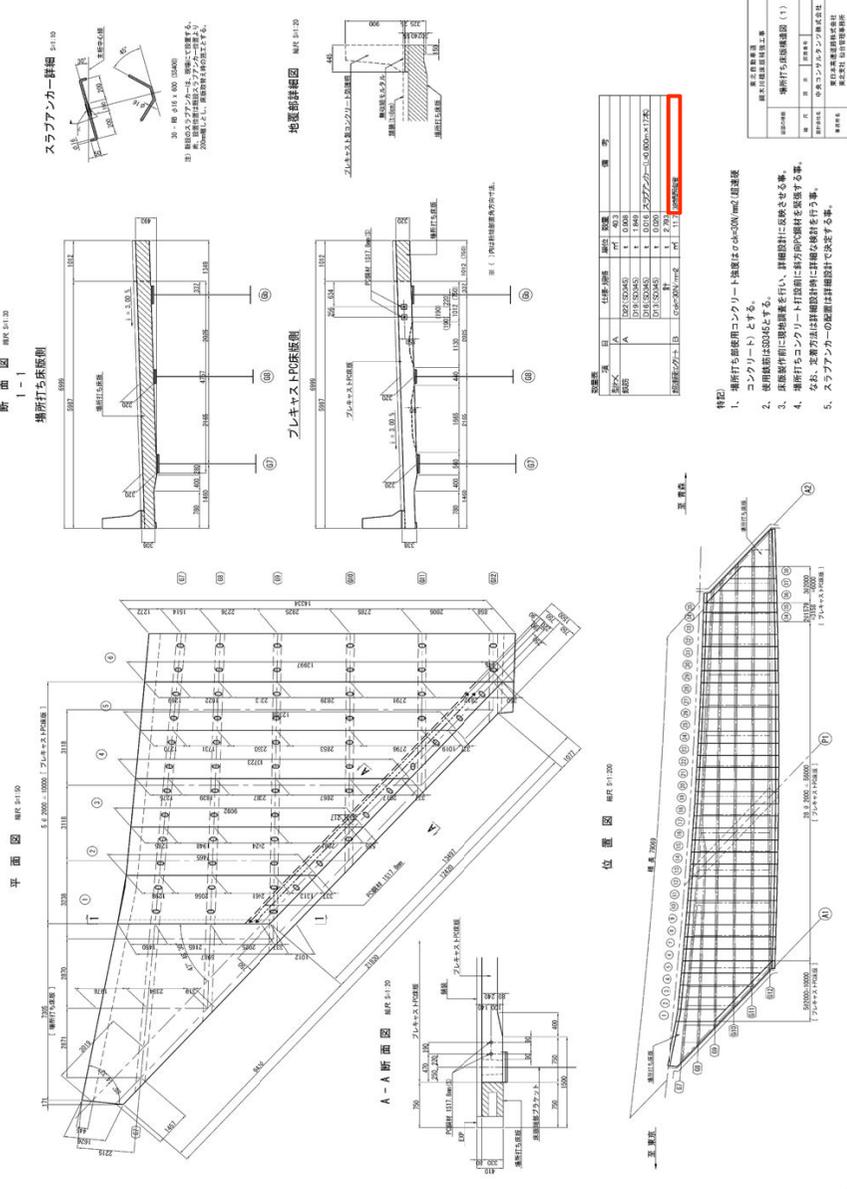
東日本高速道路株式会社 東北支社
仙台管理事務所

訂正前	訂正後																																												
<p>22-13-3 種別</p> <p>プレキャストPC床版工の単価表の項目に示す種別は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:25%;">単価表の項目</th> <th style="width:45%;">区分内容</th> <th style="width:30%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版工(A)</td> <td>プレキャストPC床版の工場製作、輸送、架設、設置、上部工との接合等を行うもの</td> <td>設計図に示す標準部</td> </tr> <tr> <td>プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版工(B)</td> <td>特殊部におけるプレキャストPC床版の工場製作、輸送、架設、設置、上部工との接合等を行うもの</td> <td>設計図に示す特殊部(床版端部変化区間)</td> </tr> <tr> <td>プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート</td> <td>プレキャストPC床版同士の間詰め部、上部工プレキャストPC床版の結合用のスタッドジベル用孔部に超早強コンクリートを使用して施工等を行うもの</td> <td>①プレキャストPC床版間詰め部 ②スタッドジベル用孔部</td> </tr> </tbody> </table> <p>22-13-4 材料</p> <p>共通仕様書8-2-4の規定による他、以下に規定する項目に従うものとする。</p> <p>(1) プレキャストPC床版工 (A)、(B)</p> <p>プレキャストPC床版工 (A) および (B) に用いるコンクリート設計基準強度は、$\sigma_{ck}=50\text{ N/mm}^2$とする。</p> <p>また、プレキャストPC床版は、JIS A 5373の規定に合格したものでなければならない。</p> <p>(2) 間詰めコンクリート</p> <p>1) 材料</p> <p>間詰めコンクリートに使用するセメントは原則として、JIS R 5210に適合する超早強ポルドランドセメントとする。また、ケミカルプレストレス効果によるひび割れ防止対策を行うものとする。なお、材料については「超早強コンクリート利用技術マニュアル(平成12年9月、(財)土木研究センター)」によるものとする。</p> <p>2) 品質管理</p> <p>間詰めコンクリートの配合は下記のとおりとする。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">単価表の項目</th> <th style="width:15%;">材令1日における圧縮強度(N/mm²)</th> <th style="width:15%;">粗骨材の最大寸法(mm)</th> <th style="width:15%;">スランプの範囲(cm)</th> <th style="width:40%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">20 (または25)</td> <td style="text-align: center;">10~14</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	区分内容	摘要	プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版工(A)	プレキャストPC床版の工場製作、輸送、架設、設置、上部工との接合等を行うもの	設計図に示す標準部	プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版工(B)	特殊部におけるプレキャストPC床版の工場製作、輸送、架設、設置、上部工との接合等を行うもの	設計図に示す特殊部(床版端部変化区間)	プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート	プレキャストPC床版同士の間詰め部、上部工プレキャストPC床版の結合用のスタッドジベル用孔部に超早強コンクリートを使用して施工等を行うもの	①プレキャストPC床版間詰め部 ②スタッドジベル用孔部	単価表の項目	材令1日における圧縮強度(N/mm ²)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプの範囲(cm)	備考	プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート	50	20 (または25)	10~14		<p>22-13-3 種別</p> <p>プレキャストPC床版工の単価表の項目に示す種別は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:25%;">単価表の項目</th> <th style="width:45%;">区分内容</th> <th style="width:30%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版工(A)</td> <td>プレキャストPC床版の工場製作、輸送、架設、設置、上部工との接合等を行うもの</td> <td>設計図に示す標準部</td> </tr> <tr> <td>プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版工(B)</td> <td>特殊部におけるプレキャストPC床版の工場製作、輸送、架設、設置、上部工との接合等を行うもの</td> <td>設計図に示す特殊部(床版端部変化区間)</td> </tr> <tr> <td>プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート</td> <td>プレキャストPC床版同士の間詰め部、上部工プレキャストPC床版の結合用のスタッドジベル用孔部に超早強コンクリートを使用して施工等を行うもの</td> <td>①プレキャストPC床版間詰め部 ②スタッドジベル用孔部</td> </tr> </tbody> </table> <p>22-13-4 材料</p> <p>共通仕様書8-2-4の規定による他、以下に規定する項目に従うものとする。</p> <p>(1) プレキャストPC床版工 (A)、(B)</p> <p>プレキャストPC床版工 (A) および (B) に用いるコンクリート設計基準強度は、$\sigma_{ck}=50\text{ N/mm}^2$とする。</p> <p>また、プレキャストPC床版は、JIS A 5373の規定に合格したものでなければならない。</p> <p>(2) 間詰めコンクリート</p> <p>1) 材料</p> <p>間詰めコンクリートに使用するセメントは原則として、JIS R 5210に適合する早強ポルドランドセメントとする。また、ケミカルプレストレス効果によるひび割れ防止対策を行うものとする。なお、材料については「超早強コンクリート利用技術マニュアル(平成12年9月、(財)土木研究センター)」によるものとする。</p> <p>2) 品質管理</p> <p>間詰めコンクリートの配合は下記のとおりとする。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">単価表の項目</th> <th style="width:15%;">材令1日における圧縮強度(N/mm²)</th> <th style="width:15%;">粗骨材の最大寸法(mm)</th> <th style="width:15%;">スランプの範囲(cm)</th> <th style="width:40%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">20 (または25)</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	区分内容	摘要	プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版工(A)	プレキャストPC床版の工場製作、輸送、架設、設置、上部工との接合等を行うもの	設計図に示す標準部	プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版工(B)	特殊部におけるプレキャストPC床版の工場製作、輸送、架設、設置、上部工との接合等を行うもの	設計図に示す特殊部(床版端部変化区間)	プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート	プレキャストPC床版同士の間詰め部、上部工プレキャストPC床版の結合用のスタッドジベル用孔部に超早強コンクリートを使用して施工等を行うもの	①プレキャストPC床版間詰め部 ②スタッドジベル用孔部	単価表の項目	材令1日における圧縮強度(N/mm ²)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプの範囲(cm)	備考	プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート	30	20 (または25)	8	
単価表の項目	区分内容	摘要																																											
プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版工(A)	プレキャストPC床版の工場製作、輸送、架設、設置、上部工との接合等を行うもの	設計図に示す標準部																																											
プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版工(B)	特殊部におけるプレキャストPC床版の工場製作、輸送、架設、設置、上部工との接合等を行うもの	設計図に示す特殊部(床版端部変化区間)																																											
プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート	プレキャストPC床版同士の間詰め部、上部工プレキャストPC床版の結合用のスタッドジベル用孔部に超早強コンクリートを使用して施工等を行うもの	①プレキャストPC床版間詰め部 ②スタッドジベル用孔部																																											
単価表の項目	材令1日における圧縮強度(N/mm ²)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプの範囲(cm)	備考																																									
プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート	50	20 (または25)	10~14																																										
単価表の項目	区分内容	摘要																																											
プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版工(A)	プレキャストPC床版の工場製作、輸送、架設、設置、上部工との接合等を行うもの	設計図に示す標準部																																											
プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版工(B)	特殊部におけるプレキャストPC床版の工場製作、輸送、架設、設置、上部工との接合等を行うもの	設計図に示す特殊部(床版端部変化区間)																																											
プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート	プレキャストPC床版同士の間詰め部、上部工プレキャストPC床版の結合用のスタッドジベル用孔部に超早強コンクリートを使用して施工等を行うもの	①プレキャストPC床版間詰め部 ②スタッドジベル用孔部																																											
単価表の項目	材令1日における圧縮強度(N/mm ²)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプの範囲(cm)	備考																																									
プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート	30	20 (または25)	8																																										

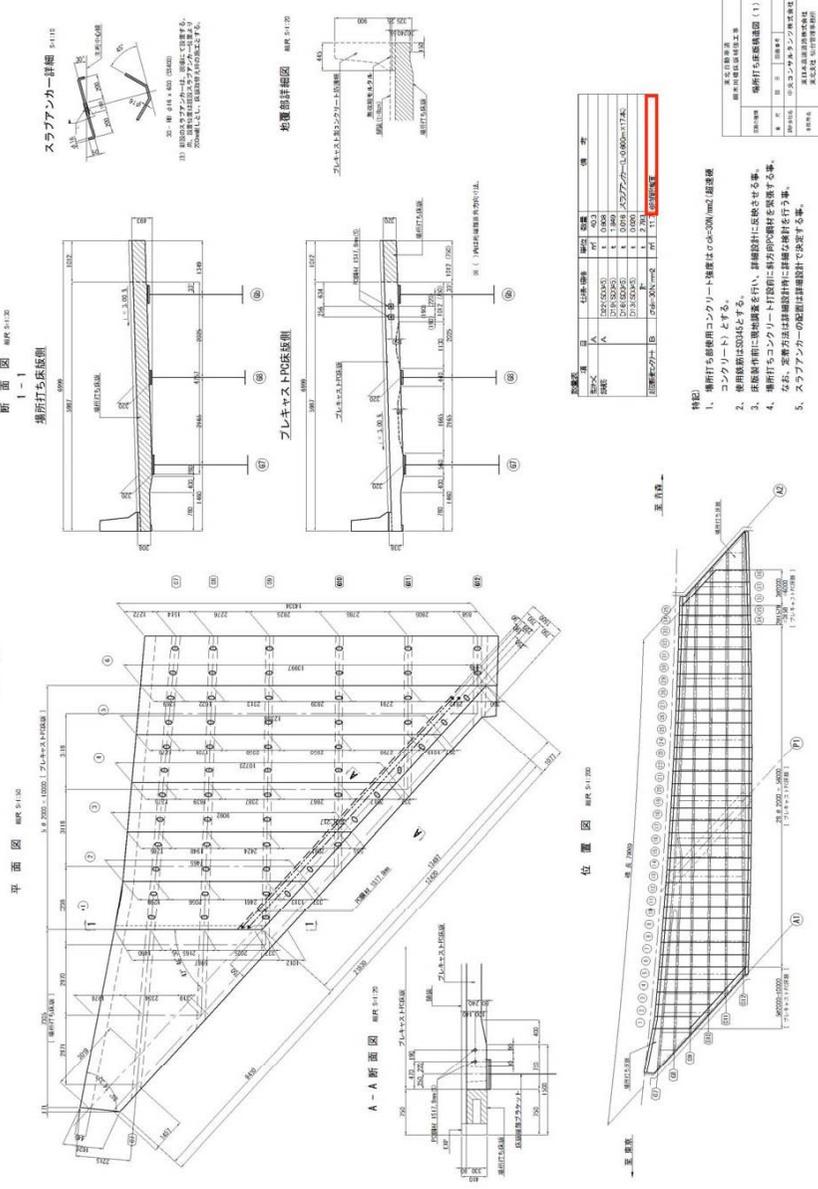
訂正前	訂正後																																										
<p>22-19 超速硬コンクリート</p> <p>22-19-1 定義</p> <p>超速硬コンクリートとは、設計図書及び監督員の指示に従って施工する超速硬コンクリートの配合、計量、練り混ぜ、運搬、打込み、仕上げ、養生をいう。</p> <p>22-19-2 種別</p> <p>超速硬コンクリートの単価表の項目に示す種別は、次の通りとする。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">単価表の項目</th> <th style="width:55%;">区分内容</th> <th style="width:30%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超速硬コンクリート A</td> <td>橋台改良工、伸縮装置（土工部）設置の際に施工する超速硬コンクリートをいう。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>超速硬コンクリート B</td> <td>場所打ちコンクリート床版（プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート除く）、伸縮装置（橋梁部）設置、照明灯受台設置の際に施工する超速硬コンクリートをいう。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>22-19-3 材料及び配合</p> <p>(1) 超速硬コンクリート</p> <p>1) セメント及び混和剤</p> <p>セメント、高性能減水剤及び凝結遅延剤は、使用に先だって規格証明書を監督員に提出しなければならない。</p> <p>2) コンクリート材料及びその貯蔵は、土木学会「コンクリート標準示方書（施工編）」6編の規定によらなければならない。</p> <p>3) 品質規格</p> <p>コンクリートは下表の品質規格を満足するものでなければならない。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">単価表の項目</th> <th style="width:15%;">材令3時間における 圧縮強度(N/mm²)</th> <th style="width:20%;">粗骨材の最大寸法(mm)</th> <th style="width:50%;">スランプの範囲 (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超速硬コンクリート A</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">20 (または25)</td> <td style="text-align: center;">10～14</td> </tr> <tr> <td>超速硬コンクリート B</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">20 (または25)</td> <td style="text-align: center;">10～14</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	区分内容	摘要	超速硬コンクリート A	橋台改良工、伸縮装置（土工部）設置の際に施工する超速硬コンクリートをいう。		超速硬コンクリート B	場所打ちコンクリート床版（プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート除く）、伸縮装置（橋梁部）設置、照明灯受台設置の際に施工する超速硬コンクリートをいう。		単価表の項目	材令3時間における 圧縮強度(N/mm ²)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプの範囲 (cm)	超速硬コンクリート A	24	20 (または25)	10～14	超速硬コンクリート B	30	20 (または25)	10～14	<p>22-19 超速硬コンクリート</p> <p>22-19-1 定義</p> <p>超速硬コンクリートとは、設計図書及び監督員の指示に従って施工する超速硬コンクリートの配合、計量、練り混ぜ、運搬、打込み、仕上げ、養生をいう。</p> <p>22-19-2 種別</p> <p>超速硬コンクリートの単価表の項目に示す種別は、次の通りとする。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">単価表の項目</th> <th style="width:55%;">区分内容</th> <th style="width:30%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超速硬コンクリート A</td> <td>橋台改良工、伸縮装置（土工部）設置の際に施工する超速硬コンクリートをいう。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>超速硬コンクリート B</td> <td>場所打ちコンクリート床版（プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート除く）、伸縮装置（橋梁部）設置、照明灯受台設置の際に施工する超速硬コンクリートをいう。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>22-19-3 材料及び配合</p> <p>(1) 超速硬コンクリート</p> <p>1) セメント及び混和剤</p> <p>セメント、高性能減水剤及び凝結遅延剤は、使用に先だって規格証明書を監督員に提出しなければならない。</p> <p>2) コンクリート材料及びその貯蔵は、土木学会「コンクリート標準示方書（施工編）」6編の規定によらなければならない。</p> <p>3) 品質規格</p> <p>コンクリートは下表の品質規格を満足するものでなければならない。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">単価表の項目</th> <th style="width:15%;">圧縮強度(N/mm²)</th> <th style="width:20%;">粗骨材の最大寸法(mm)</th> <th style="width:50%;">スランプの範囲 (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超速硬コンクリート A</td> <td style="text-align: center;">24 (材令3時間)</td> <td style="text-align: center;">20 (または25)</td> <td style="text-align: center;">10～14</td> </tr> <tr> <td>超速硬コンクリート B</td> <td style="text-align: center;">30 (材令6時間)</td> <td style="text-align: center;">20 (または25)</td> <td style="text-align: center;">10～14</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	区分内容	摘要	超速硬コンクリート A	橋台改良工、伸縮装置（土工部）設置の際に施工する超速硬コンクリートをいう。		超速硬コンクリート B	場所打ちコンクリート床版（プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート除く）、伸縮装置（橋梁部）設置、照明灯受台設置の際に施工する超速硬コンクリートをいう。		単価表の項目	圧縮強度(N/mm ²)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプの範囲 (cm)	超速硬コンクリート A	24 (材令3時間)	20 (または25)	10～14	超速硬コンクリート B	30 (材令6時間)	20 (または25)	10～14
単価表の項目	区分内容	摘要																																									
超速硬コンクリート A	橋台改良工、伸縮装置（土工部）設置の際に施工する超速硬コンクリートをいう。																																										
超速硬コンクリート B	場所打ちコンクリート床版（プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート除く）、伸縮装置（橋梁部）設置、照明灯受台設置の際に施工する超速硬コンクリートをいう。																																										
単価表の項目	材令3時間における 圧縮強度(N/mm ²)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプの範囲 (cm)																																								
超速硬コンクリート A	24	20 (または25)	10～14																																								
超速硬コンクリート B	30	20 (または25)	10～14																																								
単価表の項目	区分内容	摘要																																									
超速硬コンクリート A	橋台改良工、伸縮装置（土工部）設置の際に施工する超速硬コンクリートをいう。																																										
超速硬コンクリート B	場所打ちコンクリート床版（プレキャストPC床版工 間詰めコンクリート除く）、伸縮装置（橋梁部）設置、照明灯受台設置の際に施工する超速硬コンクリートをいう。																																										
単価表の項目	圧縮強度(N/mm ²)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプの範囲 (cm)																																								
超速硬コンクリート A	24 (材令3時間)	20 (または25)	10～14																																								
超速硬コンクリート B	30 (材令6時間)	20 (または25)	10～14																																								
44	44																																										

訂正前	訂正後																
<p>22-19-4 施工</p> <p>(1) 計量及び練混ぜ 計量及び練混ぜは、連続ミキサー車又は現場練りとする。受注者は計量方法、計量装置及びミキサー性能を記載した計画書を監督員に提出しなければならない。</p> <p>(2) 打込み 打込みは、土木学会「コンクリート標準示方書（施工書）」10章の規定を適用するものとする。</p> <p>(3) 養生 養生は、シート養生又は皮膜養生のいずれかの方法で行うものとし、気温が10℃以下の場合に給熱養生を行わなければならない。</p>	<p>22-19-4 施工</p> <p>(1) 計量及び練混ぜ 計量及び練混ぜは、連続ミキサー車又は現場練りとする。受注者は計量方法、計量装置及びミキサー性能を記載した計画書を監督員に提出しなければならない。</p> <p>(2) 打込み 打込みは、土木学会「コンクリート標準示方書（施工書）」10章の規定を適用するものとする。</p> <p>(3) 養生 養生は、シート養生又は皮膜養生のいずれかの方法で行うものとし、気温が10℃以下の場合に給熱養生を行わなければならない。</p>																
<p>22-19-5 交通開放</p> <p>交通開放は、監督員が特に指示した場合を除いて、本特記仕様書22-19-3に示す圧縮強度以上で、かつコンクリート打設後3時間以上経過後行うものとする。</p>	<p>22-19-5 交通開放</p> <p>交通開放は、監督員が特に指示した場合を除いて、本特記仕様書22-19-3に示す圧縮強度以上で、かつコンクリート打設後3時間以上<u>または6時間以上</u>経過後行うものとする。</p>																
<p>22-19-6 数量の検測</p> <p>超速硬コンクリートの数量の検測は、設計数量（m³）で行うものとする。 なお、コンクリート中の鉄筋及びその他これに準ずるものの数量は、検測数量から控除しないものとする。</p>	<p>22-19-6 数量の検測</p> <p>超速硬コンクリートの数量の検測は、設計数量（m³）で行うものとする。 なお、コンクリート中の鉄筋及びその他これに準ずるものの数量は、検測数量から控除しないものとする。</p>																
<p>22-19-7 支払</p> <p>超速硬コンクリートの支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 m³当りの契約単価で行うものとする。 この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う、コンクリート材料の計量、練混ぜ、打設、仕上げ、養生等、超速硬コンクリートの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table border="1" data-bbox="224 957 1008 1101"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特一（11） 超速硬コンクリート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>m³</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	検測の単位	特一（11） 超速硬コンクリート		A	m ³	B	m ³	<p>22-19-7 支払</p> <p>超速硬コンクリートの支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 m³当りの契約単価で行うものとする。 この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う、コンクリート材料の計量、練混ぜ、打設、仕上げ、養生等、超速硬コンクリートの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table border="1" data-bbox="1209 957 1993 1101"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特一（11） 超速硬コンクリート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>m³</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	検測の単位	特一（11） 超速硬コンクリート		A	m ³	B	m ³
単価表の項目	検測の単位																
特一（11） 超速硬コンクリート																	
A	m ³																
B	m ³																
単価表の項目	検測の単位																
特一（11） 超速硬コンクリート																	
A	m ³																
B	m ³																
<p>22-20 路面切削工</p> <p>22-20-1 定義 路面切削工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、既設路面を路面切削機にて切削することをいう。</p>	<p>22-20 路面切削工</p> <p>22-20-1 定義 路面切削工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、既設路面を路面切削機にて切削することをいう。</p>																
<p>45</p>	<p>45</p>																

場所打ち床版構造図(1)
A.1組

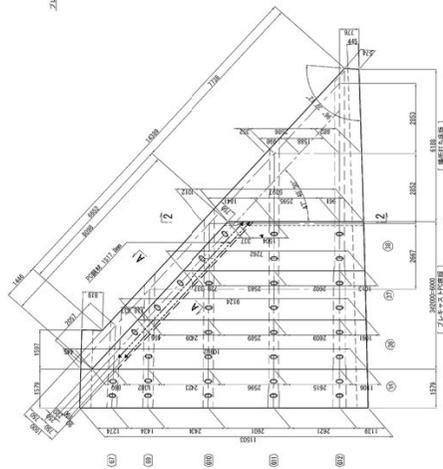


場所打ち床版構造図(1)
A.1組

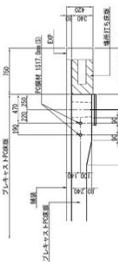


場所打ち床版構造図(2)
A.2. 側

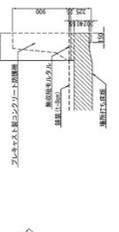
平面図 縮尺 5:1.00



A-A断面図 縮尺 5:1.00



地震動詳細図 縮尺 5:1.00

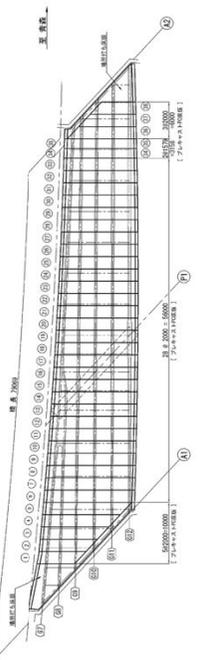


スラブアンカー詳細 5:1.10



30-φ19×600 (30φ600)
3) 現場のコンクリートに埋め込み、埋め込んで設置する。
4) 現場のコンクリートに埋め込み、埋め込んで設置する。
5) 現場のコンクリートに埋め込み、埋め込んで設置する。

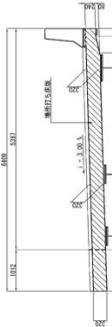
位置図 縮尺 5:1.00



訂正前

断面図 縮尺 5:1.00

2-2
場所打ち床版側



プレキャスト床版側



※ (1) 床版補強部は角付。

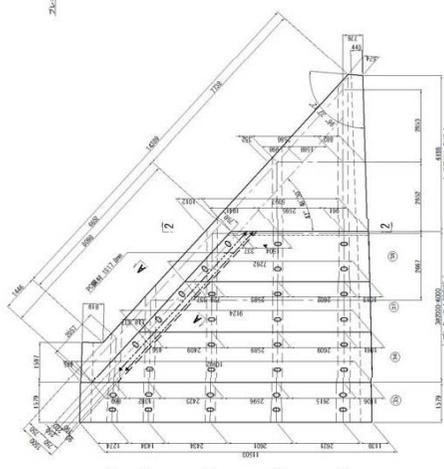
区分	項目	仕様	単位	数量	備考
コンクリート	A	C25 (S245)	m ³	27.3	場所打ち床版構造工事
	B	C25 (S245)	m ³	1.399	
	C	C25 (S245)	m ³	0.000	
	D	C25 (S245)	m ³	0.000	
鉄筋	E	φ19 (S455)	t	1.770	場所打ち床版構造工事 (2)
	F	φ19 (S455)	t	0.000	
総計					必要数量
取付数量					取付数量

特記

1. 場所打ち床版用コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ (標準値コンクリート) とする。
2. 使用鉄筋はS245とする。
3. 床版製作前に現場調査を行い、詳細設計に反映させる事。
4. 場所打ちコンクリート打設前に方向隅材を張設する事。
5. 必要方法詳細設計時に詳細な検討を行う事。

場所打ち床版構造図(2)
A.2. 側

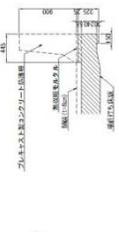
平面図 縮尺 5:1.00



A-A断面図 縮尺 5:1.00



地震動詳細図 縮尺 5:1.00

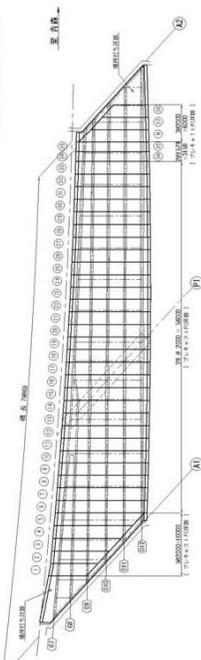


スラブアンカー詳細 5:1.10



30-φ19×600 (30φ600)
3) 現場のコンクリートに埋め込み、埋め込んで設置する。
4) 現場のコンクリートに埋め込み、埋め込んで設置する。
5) 現場のコンクリートに埋め込み、埋め込んで設置する。

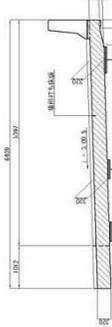
位置図 縮尺 5:1.00



訂正後

断面図 縮尺 5:1.00

2-2
場所打ち床版側



プレキャスト床版側



※ (1) 床版補強部は角付。

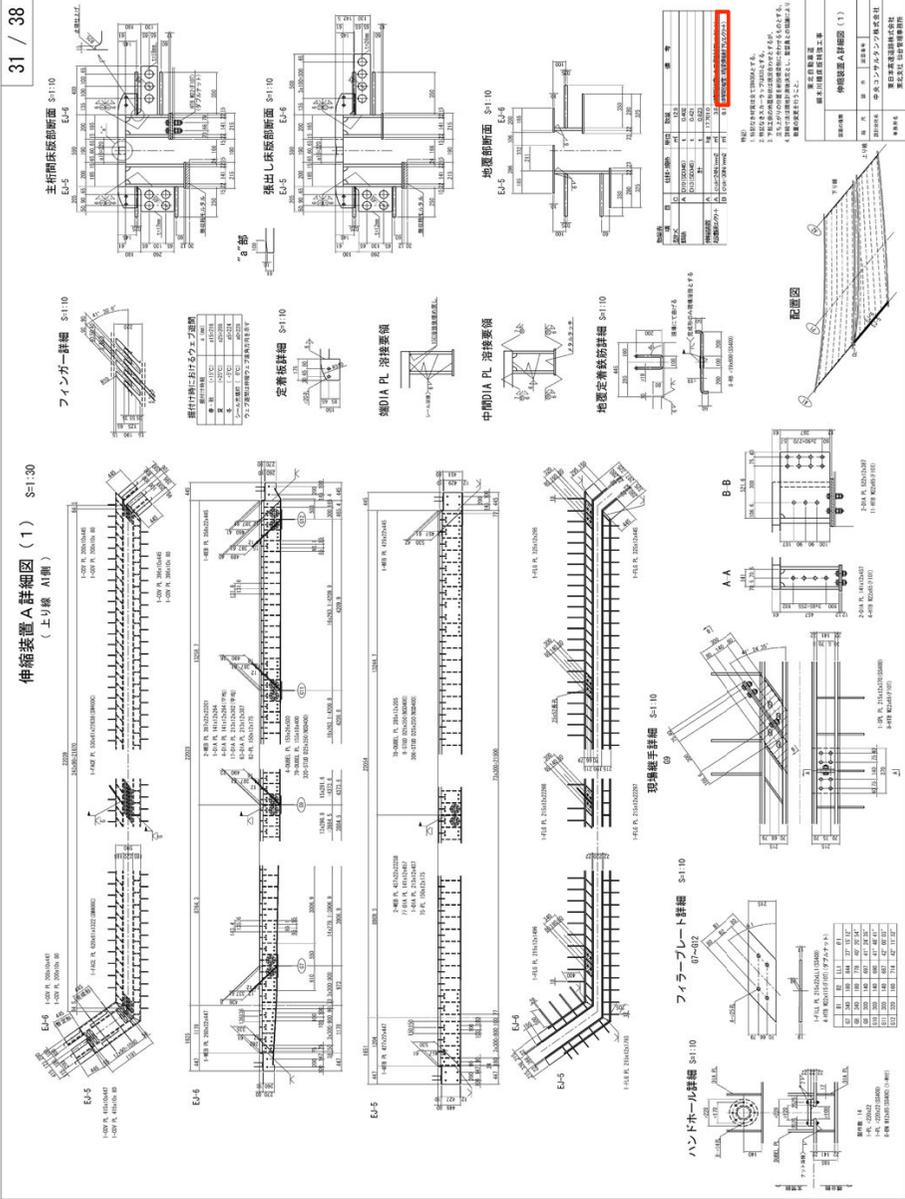
区分	項目	仕様	単位	数量	備考
コンクリート	A	C25 (S245)	m ³	1.050	場所打ち床版構造工事
	B	C25 (S245)	m ³	0.110	
	C	C25 (S245)	m ³	0.000	
	D	C25 (S245)	m ³	0.000	
鉄筋	E	φ19 (S455)	t	1.770	場所打ち床版構造工事 (2)
	F	φ19 (S455)	t	0.000	
総計					必要数量
取付数量					取付数量

特記

1. 場所打ち床版用コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ (標準値コンクリート) とする。
2. 使用鉄筋はS245とする。
3. 床版製作前に現場調査を行い、詳細設計に反映させる事。
4. 場所打ちコンクリート打設前に方向隅材を張設する事。
5. 必要方法詳細設計時に詳細な検討を行う事。

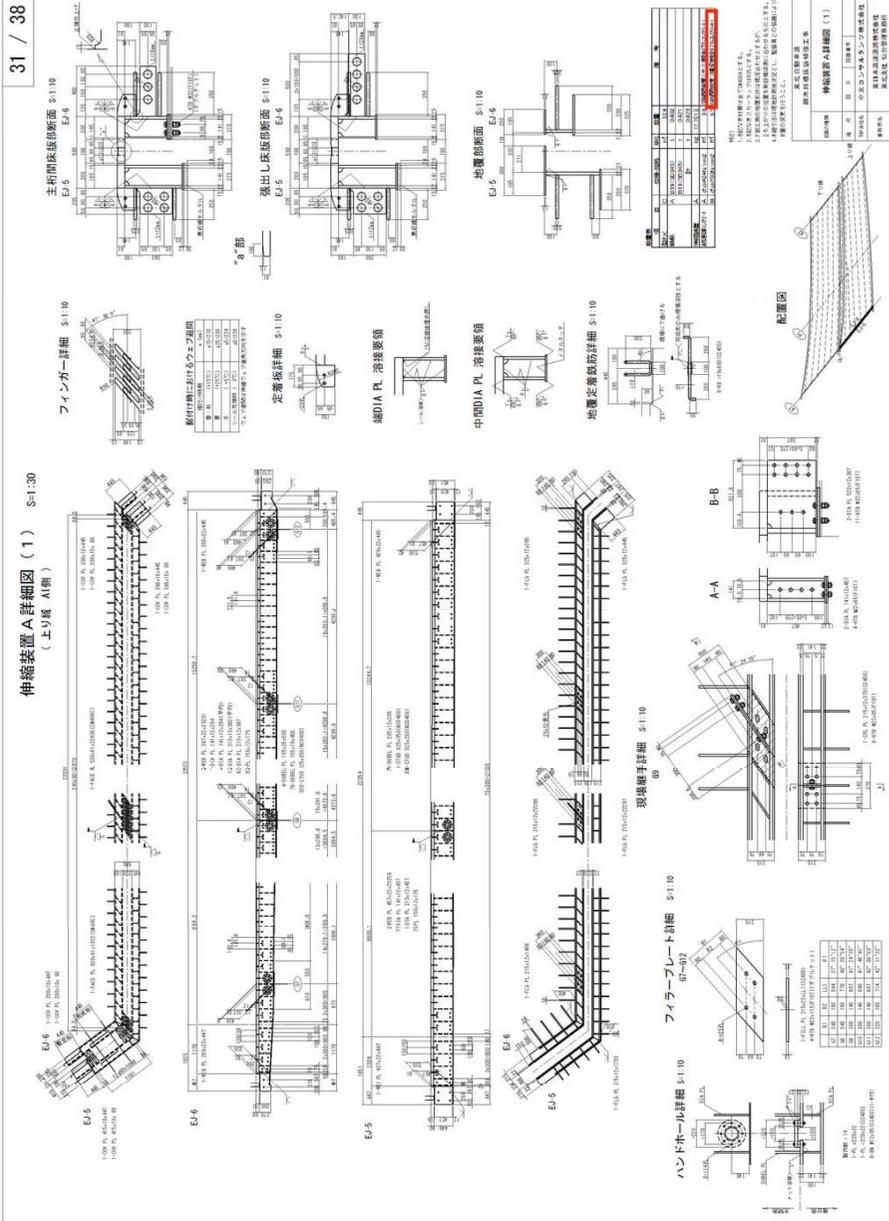
訂正前

31 / 38

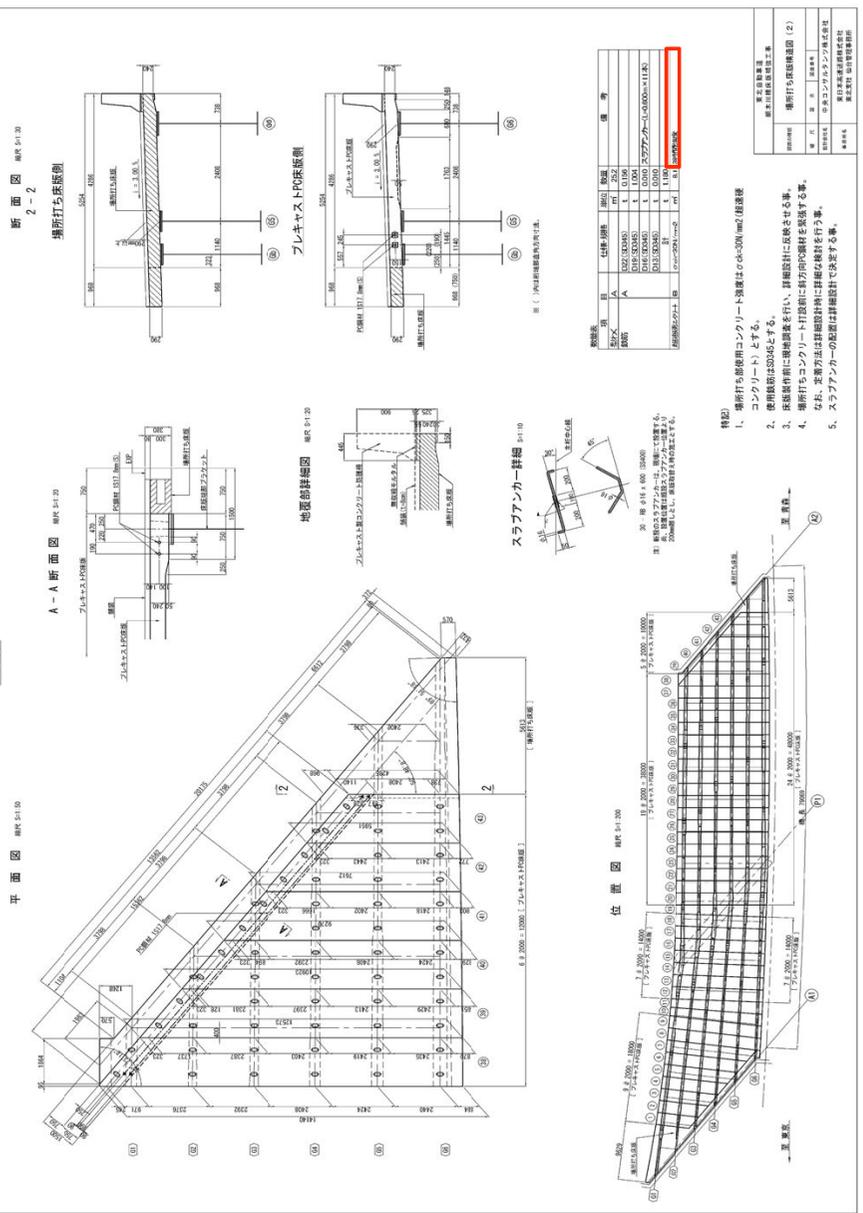


訂正後

31 / 38

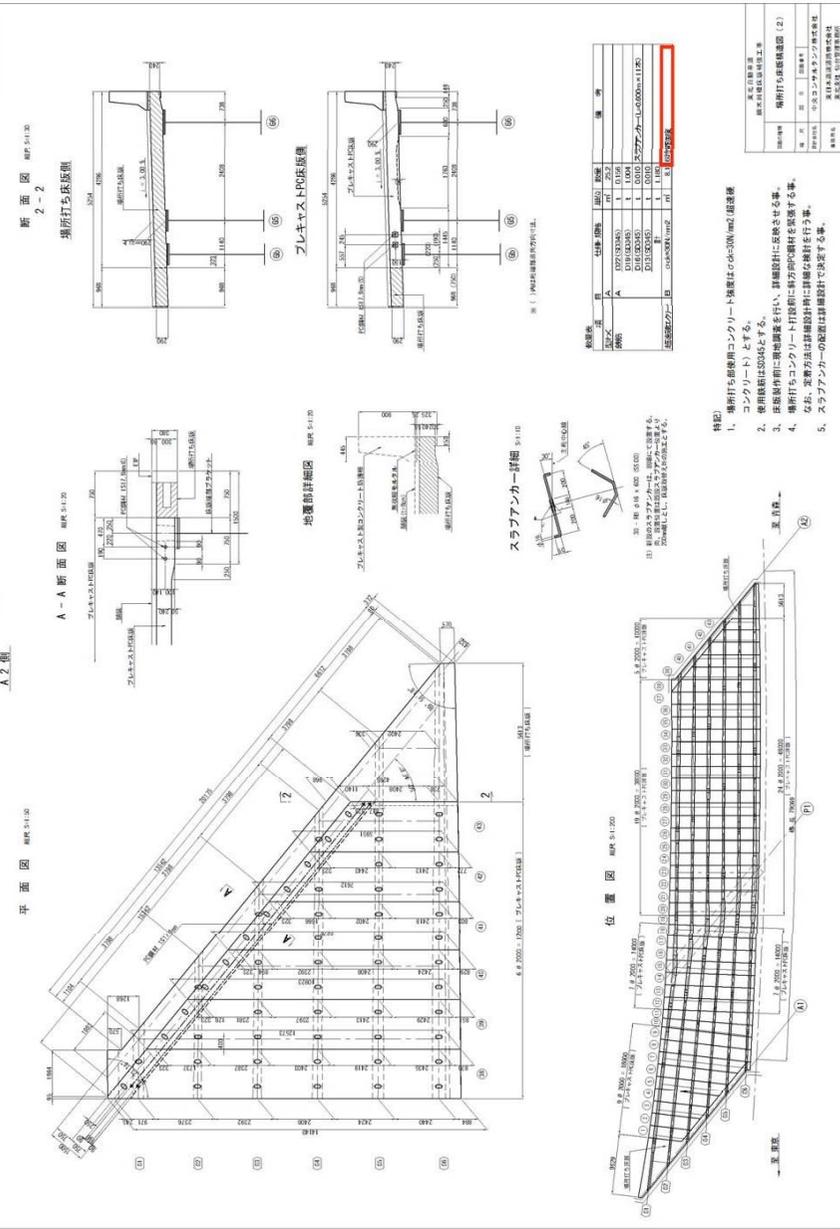


場所打ち床版構造図(2)
(下り線)
A2線



訂正前

場所打ち床版構造図(2)
(下り線)
A2線



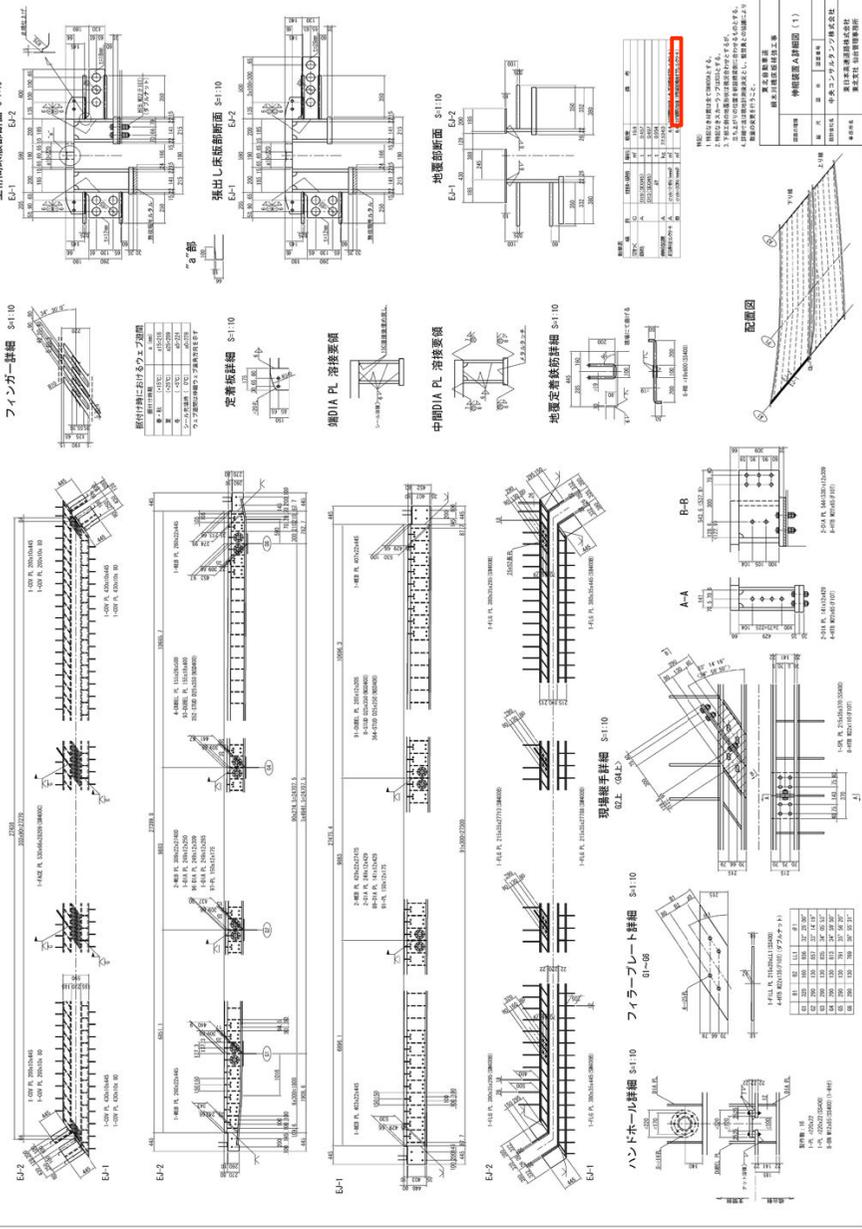
訂正後

訂正前

訂正後

30 / 37

伸縮装置A詳細図(1) S=1:30
(下り線 右側)



30 / 37

伸縮装置A詳細図(1) S=1:30
(下り線 左側)

